

(様式1)

令和3年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 029	提案機関名 畜産技術センター
要望問題名 経営継承準備の実態と問題点の調査について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 高齢化が進む県内の畜産経営において、昨今、廃業も相次いでいる。経営継承対策は、経営者が明確な目的を持って実施しなければならない最も重要なマネジメントの一つである。継承すべき事柄は、飼養技術といった無形の経営資源の他、土地や施設などの資産、そして経営の理念や権限と多岐にわたる。 各々の農家では、後継者があっても、その多くは、継承準備が進んでいないのが現状である。経営者が、後継者の能力が不足していると考え、積極的に継承しようとしにくいケースや、逆に後継者は自分の能力に不安を感じて関わろうとしない、あるいは諦めてしまったりと、家族間で確執が生じ、経営継承の阻害要因となっている。生き物を飼養する畜産において、事前準備なしの突然の継承は様々なリスクを生じることになる。 そこで、先行して実施されている農業技術センターの担い手確保のための経営状況を調査する課題（※）のように、本県の畜産経営の実態を把握し、経営継承にあたっての問題点や、場面別の経営継承の進め方などを整理するための調査研究の実施を希望する。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考 ※神奈川県農業技術センター「かながわ農業の担い手確保や安定した農業経営実現のための調査研究（平成28～32年度）」	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画研究課
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	経営継承に関する対策について農研機構から手引書(※)が作成されています。この中で示されている対策として①就農対策（後継者への働きかけ、現状での経営改善や規模拡大、10年程度の長期的な継承計画の作成）、②能力養成対策（教える、教えたとおりに仕事をさせる、仕事を任せる）、③世代交代対策（世代交代のタイミング、仕組み・きっかけをつくる、引退後の役割や生活を考える）、④後継継承対策（家族以外への継承）に整理され、それぞれの対応策についてもまとめられていますので参考にして下さい。 また、経営継承に関する実態把握ためのアンケート調査については、作成方法や収集データの分析等への助言、指導について対応させていただきます。		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考	※「農業経営の円滑な継承に向けて」 https://fmrp.dc.affrc.go.jp/publish/newfarmer/succession/ ※「農業法人における経営継承対策」 http://fmrp.dc.affrc.go.jp/publish/newfarmer/business_successions_2/ 農研機構		